

外来・入院患者受持数に応じた評価 (インセンティブ) 制度の導入



五稜会病院は、新規・再来・入院いずれの患者数も多く、地域の精神科医療を支える中核的役割を担っている。しかし、その活気の裏側で医師の負担が増大していることも事実であり、この現状から目を背けるべきではない。今後は、貢献に見合った評価と負担の適正化を進め、持続可能な診療体制の構築が求められる。なお、この規定は病院の経営状況によっては見直すこともあり得ます。

目的

外来・入院患者受持数について、基準を超えた負担を可視化し適正に評価することで、医師のモチベーション向上と診療体制の維持・強化を図る。あわせて、過度な負担の偏在を防ぎつつ、診療の質と安全性を担保することを目的とする。



貢献を可視化し
適正に評価



モチベーション向上と
診療体制の強化



過度な負担の偏在を防ぎ
診療の質と安全性を担保

支給条件



量・質・協働・風土を
満たした場合に支給



「チームで回せる人」
を評価する

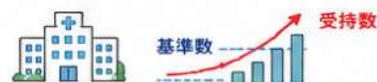


基準数・金額については
病院経営状況によって適切に算出する
必要に応じて定期的に見直しを行う



基準超過の達成

外来・入院患者受持数があらかじめ定めた基準を超過していること



業務の適正実施

回診・記録（作業療法・デイケア含む）等、担当業務が適切に実施されていること



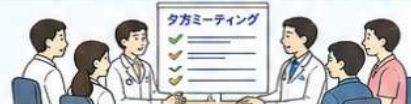
診療の質の担保

重大なインシデントや不適切な診療行為が認められないこと



情報共有の遵守

タフミーティング（※緊急時を除く）、院内の情報共有体制に
原則参加していること



チーム医療への協力

休暇時の代行対応や外来応援など、診療体制維持に協力していること



コメディカルへの配慮

看護師・MHSW等との連携を重視し、過度な負担転嫁や
不適切な指示がないこと



組織風土への貢献

協働姿勢を持ち、院内の円滑なコミュニケーションと
良好な雰囲気作りに寄与していること



上限・安全ラインの遵守

過度な受持数（安全ライン超過）の場合は対象外または減額とする



勤務実績の確認

当該月の勤務実績（欠勤・長期不在等）を踏まえ、適正に評価する



適正な評価で、医師のやりがいと質の高い医療を両立します

